



炎天下、 子供と一緒にゴミ拾い

日遊協会員ら58人が参加

強い日差しのなか約1時間にわたってゴミを拾った

◀海の水ではしゃぎながらゴミを拾う

「東京港を泳げる海に！ハダシで歩ける砂浜に！」を合言葉に、東京・お台場海浜公園の海浜周辺を掃除するイベント「東京ベイ・クリーンアップ大作戦」が9月8日行われ、日遊協からは社会貢献・環境対策委員会のメンバーをはじめとした会員企業の有志と、10人の子どもを含むその家族、合せて58人がボランティア参加した。

参加者は、強い日差しの中、汗だくになりながらおよそ1時間にわたって海岸付近や公園内に散らばったゴミを拾い集めた。

環境保全セミナーも

海岸清掃後には近隣のホテル「ランドニッコー東京」において日遊協の主催による環境保全セミナーも行われた。

「東京ベイ・クリーンアップ大作戦」は、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団の主催で年3回（6月、9月、11月）開催されているもの。今年23

年目を迎える。駅近くの海岸での清掃活動とあって、家族で気軽に行けるボランテ

ィアとして認知も広がっており、今回はイオン銀行、ネットトヨタ東京、大和ハウス工業など近隣に事業所を持つ企業を中心とした27社、682人が参加した。

日遊協がこの活動に参加するのは初めて。9月は、日遊協主催の全国的な清掃運動「全国クリーンデー」地域大清掃パチンコが日本をきれいに」の実施期間中で、この海岸清掃イベント参加はクリーンデーへの協力にもつながっている。清掃当日の天気は、週前半のぐずつきも消え、朝から雲ひとつない快晴。その後も時間を追うごとに日差しが強まっていくなか参加ボランティアは、9時30分からの全体オリエンテーションの後、火把サミとビニール袋を手に海浜公園の藪のなかから波打ち際まで広い範囲でゴミ探しをおこなった。

一見きれいな海岸も砂に細かいプラごみ

お台場の海岸は原則遊泳禁止で海水浴こそできないものの、近くにホテルや人気の商業施設が立ち並んでいることもあって、夏場を中心に若い人らの遊びのスポットとして知られている。海水浴場ではないということから、それらの

子どもを含む58人がボランティアに参加した



林のゴミを拾う薛委員長

砂浜と比べると見た目はかなりきれいだが、それでも、足に刺さるとケガをしそうな小さなプラスチック片や、たばこの吸い殻などは、砂のなかに隠れているだけでまだ多いという。

参加者によると、「一見すると綺麗な海岸だったが、落ち葉をひっ

北電子の小林社長もご夫妻で参加



小さなゴミが数多くでき

くり返し、砂をほじくり返したりすると

た」そうで、その他にも「割れたペットボトルの破片が砂の中に潜っていた。裸足で歩くと危ない」「細かいプラスチックが多かった」「バーベキューの炭の残りが砂の中からでてきた。楽しんだのなら片づけるべきだが」「吸い殻が多いのには驚いた」「焼肉ダレの容器の内ブタが多く落ちていた」などの声が多く聞かれるなど、特に海岸利用者が飲食等をしたあとと捨てていったと思われるゴミのポイ捨てが目立ったようだ。

10袋分のゴミ回収

日差しがますます強くなってきた11時には海岸清掃作業を終了。おおよそ1時間でビニール袋10袋程度のゴミを回収した。



◀カメになってゴミの網にひっかった体験



日遊協の主催による環境保全セミナーも行われた

JEANの小島氏▶



置き捨てや船からのものだけでなく、街中でポイ捨てされたものが水路や川の上流域から海へ流れ出るといったケースも非常に多いと説明。また、ゴミの中でもプラスチック製のものは分解しないことから、太陽光で劣化して粉々になり、それを海洋生物や鳥が誤食するなど被害が拡大しているとした。

続いて参加者は、セミナーを聴講するためにホテルに移動。「美しい海をこどもたちへ」と題されたセミナーで講演したのは、国際海岸クリーンアップの企画運営や海洋ゴミ問題についての情報収集や啓蒙活動を行う「一般社団法人JEAN」の小島あずさ氏。海洋ゴミの、特にプラスチックによる海洋汚染の現状とその原因、対策などについて約45分間、スライドを使用しながら解説した。

小島氏は「海のゴミ問題は生態系への影響も懸念される」としたうえで、そうしたゴミは海岸での

さらに、潮の流れで海岸がゴミ溜まりとなった無人島や、死骸の胃袋や腸からビニール袋など大量のゴミが発見されたクジラや亀、漁で使う網が首やからだに巻きついたオットセイの写真などを観ながら「世界全体で年間2億トンのプラスチックが捨てられており、そのうちの何%かが不法に投棄されている。海洋プラスチック憲章が制定され、2030年までにプラスチック用品を全て再利用可能、あるいはリサイクル可能にすることを約束するなど世界は変わりつつあるが、すでに捨てられている破片化するプラスチックの対策など課題は多い」とし、綺麗な海岸を復活させるためには一人ひとりが地道なゴミ拾いを続けることが重要、などと述べた。